

# Power over Ethernet Fader for DME7 LF16D2-PoE

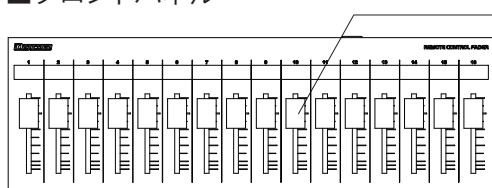
## 取扱説明書



### LFシリーズの特徴

LF16D2-PoEはヤマハ社の「DME7」のミキシング機能の一部をコントロールすることが可能な設備用フェーダーユニットです。誤操作などを避けるため、ON/OFFスイッチや設定ボタンなどを搭載しておりませんので宴会場や会議室など、専任オペレーターがいない場所でも簡単に扱うことができます。

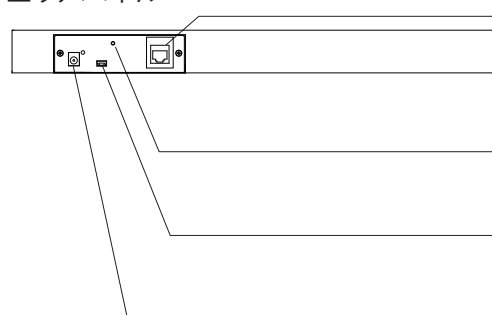
#### ■フロントパネル



#### フェーダー

LF16D2-PoEは16ch分のボリュームをコントロールできます。ボトムパネルにあるDIPスイッチでリモートコントロールナンバーを切り替えることができます。

#### ■リアパネル



#### RJ45端子(PoE対応)

DME7のコントロールデータを出力します。IEEE802.3af対応のスイッチングハブと接続することによりACアダプターが不要になります。配線にはCAT5e以上のLANケーブルをご使用ください。

#### M3ネジ穴

DCプラグの抜け防止等に使用してください。

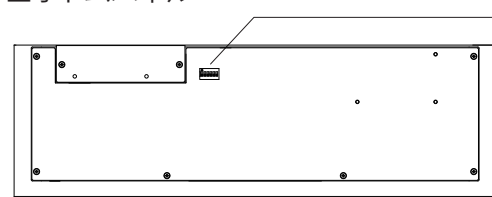
#### USB端子

ファームウェアアップデート用です。使用しないで下さい。

#### DC IN端子

接続機器がPoE給電非対応の場合は、付属品のACアダプターを接続してください。  
※PoE給電を受けている場合は、ACアダプターを接続しないでください。

#### ■ボトムパネル



#### DIPスイッチ

- ・LF-D2とDME7を1対1で接続する場合、全てのDIPスイッチをOFFに設定してください。
  - ・1台のDME7に対して複数台のLF-D2を接続する場合はP3のDIPスイッチ設定をご参照ください。
- ※複数台での接続は4台まで動作確認をしております。



### IPアドレスについて(必ずお読みください)

LF16D2-PoEのIPアドレスは192.168.0.168に設定されており、DHCP非対応です。初期設定でIPアドレス192.168.0.1のDME7をコントロールすることができます。LF16D2-PoEのIPアドレスを変更する場合や、コントロール先のDME7のIPアドレスを変更した場合は同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。

### 仕様

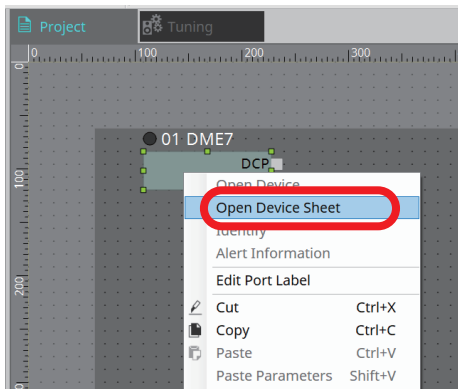
出力端子	:RJ45
伝送規格	:TCP
イーサネット規格	:10/100BASE-T
PoE受電	:IEEE802.3af
IPアドレス初期値	:192.168.0.168
IPポート初期値	:49280
電源電圧	:9V / 0.3A
付属品	:ACアダプター
塗装	:半艶黒
サイズ	:W410×D132×H36
重量	:2.2kg

# DME7の設定方法

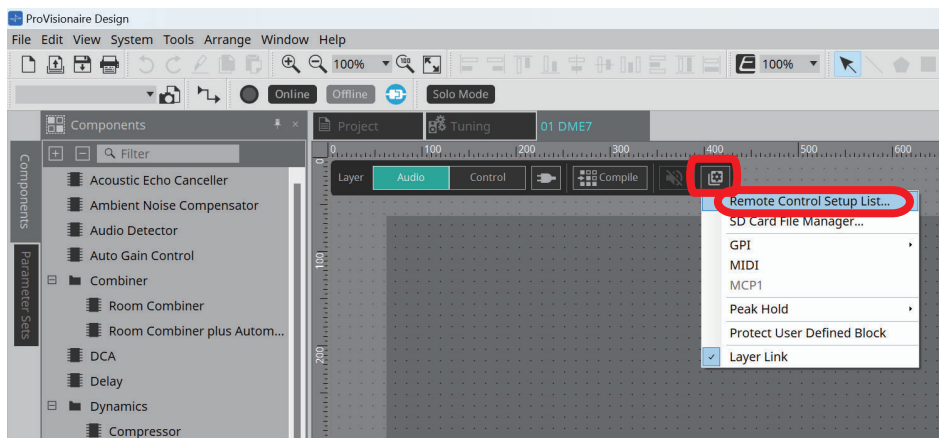
LF-D2は初期設定でIPアドレス192.168.0.1のDME7をコントロールすることができます。  
DME7が複数台接続されている場合はリモートコントロールしたいDME7のIPアドレスを192.168.0.1に設定し、DeviceのIP PORT No.49280に設定してください。

IPアドレスを192.168.0.1から変更する場合はDME7のリファレンスマニュアルまたはProVisionare Designerユーザーガイドをご参照ください。  
またDME7のIPアドレスを変更されると、LFフェーダーのコントロール先のIPアドレスを変更する必要があります。  
その場合は、同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。

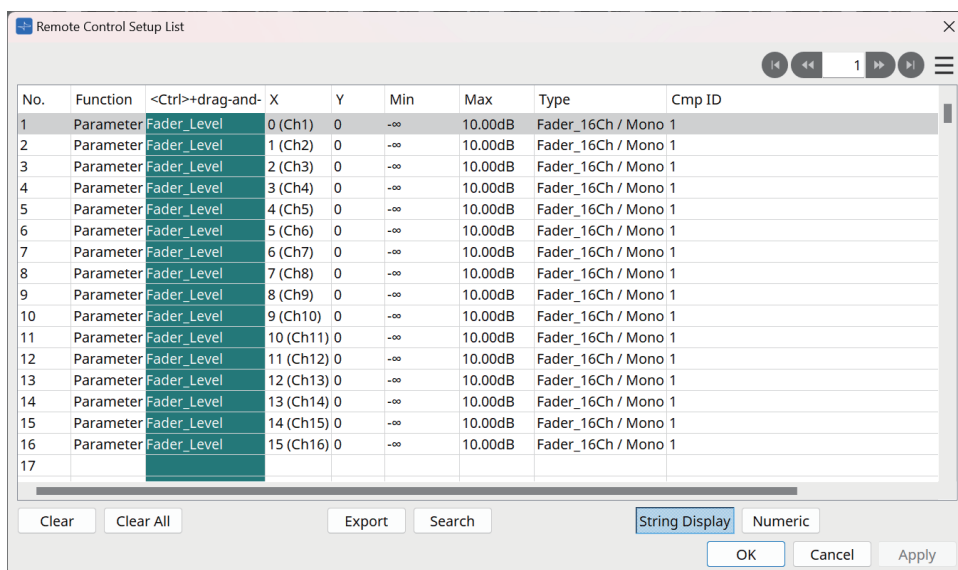
①ProVisionare Designerを起動し接続するDME7のDevice Sheetを開きます



②Toolsをクリックし、表示されたメニューからRemote Control Setup Listを選択します。



③制御したいパラメーターをアサインし、OKを押します。  
下記画像はフェーダーコンポーネント16ch分のレベルをLFフェーダーにアサインした例です。



以上でDME7の設定は完了です。

■ LF-D2のDIPスイッチ設定



LF-D2とDME7を1対1で接続する時はDIPスイッチの設定を1～6全てOFFに設定してください。  
LF-D2のフェーダー1chから順にDME7のリモートコントロールナンバー1をコントロールします。

1台のDME7に対して、複数台のLF-D2を使用する場合、DIPスイッチとIPアドレスの設定が必要となります。  
DIPスイッチの設定により、コントロールするチャンネル番号の設定が異なります。詳しくは下記表でご確認ください。

■ 複数台のLF-D2を接続する場合のDIPスイッチ設定

Remote Control Setup Listの対応ナンバー			
1 2 3 4 5 6	LF08	LF16	LF24
	1～8	1～16	1～24
	9～16	17～32	25～48
	17～24	33～48	49～72
	25～32	49～64	73～96
	33～40	65～80	97～120
	41～48	81～96	121～144
	49～56	97～112	145～168

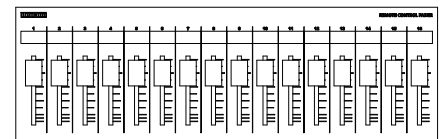
■ 複数台のLF-D2を接続する場合の設定方法

例) LF16D2を2台同時に接続する

① 1台目のLF16D2のDIPスイッチを全てOFFに設定する。



LF16D2のch1でRemote Control Setup ListのNo.1を操作  
LF16D2のch2でRemote Control Setup ListのNo.2を操作  
以下同様に16までとなります。

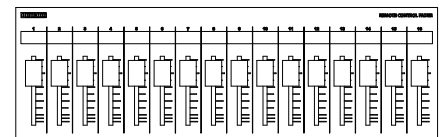


①No.1～16を操作する

② 2台目のLF16D2のDIPスイッチを1のみONに設定し、IPアドレスを変更する。  
フェーダーのIPアドレスを変更する方法については、同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。



LF16D2のch1でRemote Control Setup ListのNo.17を操作  
LF16D2のch2でRemote Control Setup ListのNo.18を操作  
以下同様に32までとなります。



②No.17～32を操作する

③変更されたRemote Control Setup Listへのアサイン方法は、P2の②③をご確認ください。

※注意 誤動作の原因になりますので、以下の点にお気を付けください。

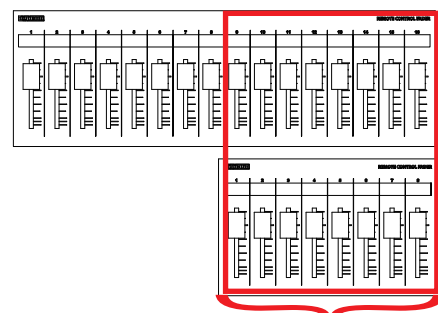
複数台のフェーダー間で、Remote Control Setup Listの対応ナンバーが重複しないようにDIPスイッチを設定してください。

組み合わせで使用できないDIPスイッチの例

1台目のLF16D2のDIPスイッチを全てOFFに設定する。  
⇒Remote Control Setup ListのNo.1～16を操作

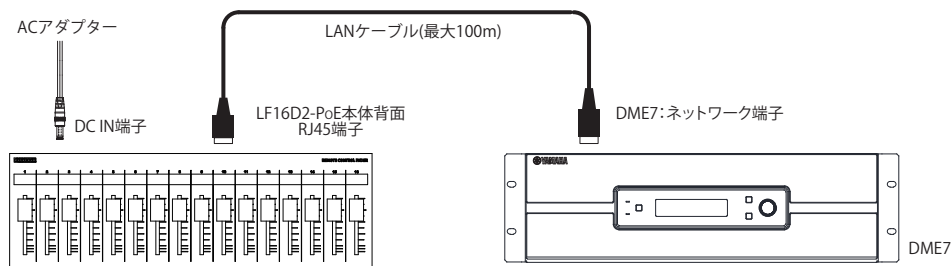
2台目のLF08D2のDIPスイッチを1のみONに設定する。  
⇒Remote Control Setup ListのNo.9～16を操作

操作するチャンネルが重複してしまうので使用できません。

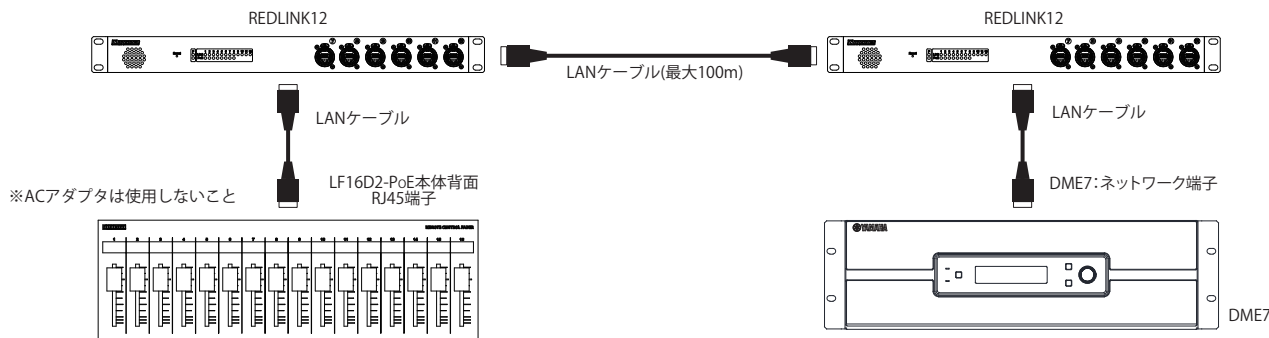


No.9～16が重複する

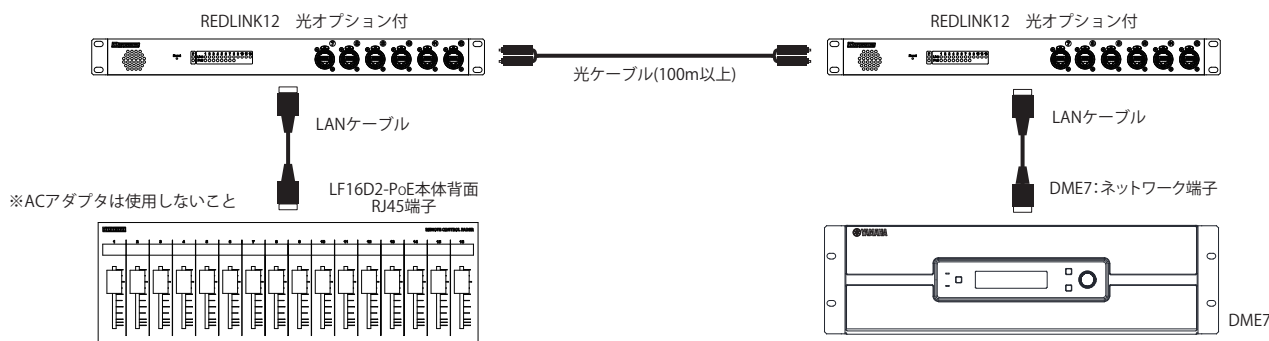
## ■基本接続



## ■スイッチングハブを使用した基本接続①(LANケーブル)



## ■スイッチングハブを使用した基本接続②(光ケーブル)



## ■商品に関する注意事項

持ち運びする際、移動時に強い衝撃を与えないで下さい。  
 水のかかる場所や直射日光が当たる場所での長時間の使用は避けて下さい。  
 海浜部、温泉地帯など金属のさびやすい場所では本体や取付金具の耐久性が低下する場合がありますのでご注意下さい。  
 ラックマウントして扱う場合、正しく設置しないと落下する恐れがあります。  
 機材を引き出した状態で上下から負荷をかけますと事故や怪我の原因となります。  
 D-RACK1など引き出し付きの機器を収納する際、指を挟まないように注意して下さい。  
 万が一異音や異常、熱をおびた場合はすぐに使用を中止し電源を切り、メーカーまでご連絡下さい。

## ■保障に関して

本機にはシリアル番号で製造、出荷年月日が管理されており、保証書は添付されておりません。  
 万が一、故障した場合は製造日より1年間は無償で修理いたします。

※使用方法の誤りにおける破損・故障に関しましては有償となります。また、不適切な使用や改造による故障や怪我は補償いたしかねますのでご了承下さい。

## ■損害に対する責任

この商品の使用、または使用不能によりお客様に生じた損害については、当社は一切その責任を負わないものとします。  
 また如何なる場合でも当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになった商品の代価相当額をもってその上限とします。

## お問い合わせ

### 有限会社Digicom

〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋3-11-15

TEL:052-324-8385 FAX:052-324-8386

E-Mail:info@e-digicom.co.jp

http://e-digicom.co.jp/